

目標達成計画

作成日: 平成 26年 10月 22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	夜間の災害時、職員が一人で対応することは困難であり不安が大きいにも関わらず、夜間を想定した訓練の回数が少ない。	日中、数名の職員がいて入居者の安全を確保できる状態があるときに、夜間を想定した避難訓練を年4回実施する。	①夜間避難訓練マニュアルを作成する。 ②夜間想定訓練を実施する。 ③①と②を繰り返し、マニュアルを完成させる。 ④年4回実施する。(3月・6月・9月・12月)	12ヶ月
2	35	災害時の地域住民との協力体制がホットラインのみでは心もとない。	地域住民と一緒に避難訓練を実施する。(北エリアとして)	①北エリア災害対策会議において、地域との協力体制をどのように構築すべきか提案する。 ②年2回北エリア総合避難訓練の時に地域の方へお知らせを出し協力を仰ぐ。 ③地域の方を交えた訓練マニュアルを作成する。	12ヶ月
3	35	玄関以外の避難経路として、建物西側を設定しているが、環境整備が万全でなく危険である。	避難経路として、いつでも安全に通ることができるように整備する。	①全職員に避難経路として使用することを周知徹底する。 ②必要最小限の物だけを置くこととし、置く物・置き方のルールを決め徹底する。	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。